令和5年11月15日

レバーレートチーム報告書　　　　　　　　　　　　東北ブロック　　　　須賀　律人

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　近畿ブロック　　　　松本　礼士郎

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　九州・沖縄ブロック　柴田　宗弘

「全国津々浦々リアルタイムに情報共有できるシステム」に関し期待できる効果と運用

ルールについて考えてみました。

＜グループ作成の意図と期待できる効果＞

個々人各々の理解度が異なる中、委員会で決定した内容を一言一句相違なく伝える

事は「伝言ゲーム」がそうである様に非常に難しい事であります。
伝えたい内容は、出来るだけ人数を介せずにシンプルに落とし込むべきであり、そう

する事に依ってその温度差にも差異が生じ辛くなると考えます。
勿論、全国代表者への配信ともなればそれなりに文章のチェックに時間を要する事に

なろうかとは思いますが、急激に変化する現代だからこそ、組合のスケールメリット

を活かし早急に対応していく必要性を感じます。

・委員会からのアンケート依頼等、今迄ブロック毎に担当者が行っていたフォロー

を一斉に発信する際に使用。

・オープン委員会開催の案内や、事前資料配信に使用。

・日車協連側からの一方的な事業発信ではなく、各県代表者からの意見を反映する

事ができれば、事業精度向上も去る事ながら事業の全国展開がし易くなる。

・サポーターには各県レベルにおいてその事業内容を報告して貰うオピニオンリーダー
的存在になり、事業理解度が増し易くなる。また、各県「事務局の対応が遅い」場合、

ダブルチェック機能が働くのでスピード感が増す。

・全国一斉に配信する事により、少なくても各県担当者レベルまでへの情報開示につい

て全国リアルタイムで共有を諮れる。

＜運用ルール詳細＞

・データ送付・共有保管というよりは「掲示板への告知」がメイン

・委員会、各県代表者・事務局等までグループ化するとなれば100名は超える！？
・新規情報　着信のアラートは必須

・グループメンバーからの返信を、全メンバーで共有できる様にしたい！！

・個人への誹謗中傷コメントはさせない。

 進捗状況

広報委員会さんよりご紹介頂いた「[Google drive](https://www.google.com/intl/ja_ALL/drive/start/features.html)」については、ルール等運用を鑑みた際に合致しないと考えました。

代替案として「メーリングリスト」等サービスが望ましと考えておりましたが、想定する参加員数を鑑みれば「有料運営」である事が現状のネックになっております。

　今後、試験的に各ブロックで運用してみて、統合を視野にいれたいと考えております。